

い、ま

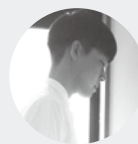
を考えるトークシリーズ

ロームシアター京都では、
新たなトークシリーズを開始しました。
多様な角度から同時代の社会を知り、
捉え直すためのトピックを挙げ、
それにまつわるゲストを招きます。
複雑化し、混迷する現代を
「いかに生きるべきか」。
その手がかりを探り、ともに考える
トークシリーズです。

3 2018年3月17日(土) 14:00~ セクシュアルマイノリティと社会をつなぐ、 芸術表現の可能性



山田創平
社会学者 / 京都精華大学
全学研究機構社会連携センター長
・人文学部准教授



森栄喜
写真家

4 2018年3月24日(土) 17:00~ AI (人工知能) と音楽の未来



三輪真弘
作曲家、情報科学芸術
大学院大学 (IAMAS) 教授



山崎雅史
ソフトウェア技術者

VOL.3 セクシュアルマイノリティと社会をつなぐ、 芸術表現の可能性

現在、日本の人口の約8%を占められているセクシュアルマイノリティ。法的保障の制度づくりを先進してきた欧州諸国や、今年になってアジア初の同性婚が容認された台湾などのアジア諸国と比較して遅れを取っている日本社会においても、少しずつ議論がおこり、政治的施策が試みられつつあります。セクシュアルマイノリティというその繊細な事象において、芸術表現は、公共性を携える「劇場」という場は、当事者／非当事者同士をフラットに接続する媒体としてどのような可能性を提示できるのでしょうか。今回のトークでは、社会学者／京都精華大学全学
研究機構社会連携センター長・人文学部准教授の山田創平氏と写真家の森栄喜氏
を迎え、その可能性について考えていきます。

2018年3月17日(土) 14:00 開始

会場：ロームシアター京都 パークプラザ3階共通ロビー
定員：80名(事前申込制・先着順)、参加費：無料
申込開始：2018年2月2日(金)

VOL.4 AI(人工知能)と音楽の未来

日々さまざまな話題が取沙汰され、発達が目覚ましいAI(人工知能)。アートの分野でも、レンブラントの絵画を解析して同じように再現することが可能になっていたり、ある作曲家の曲を取り込んで、その人の特性を有した新曲を自動生成してしまうシステムが開発されるなど、さまざまな取り組みが話題になっています。「AIにクリエイティブなものをつくれるのか?」「創造的なものとは何か?」このような問いについても考えながら、これからのAI技術と芸術の関わりから生まれる新たな可能性について、現代音楽作曲家として挑戦を続ける三輪眞弘氏と、ソフトウェア技術者として最先端の技術を研究する山崎雅史氏にお話を伺います。

2018年3月24日(土) 17:00 開始

会場：ロームシアター京都 パークプラザ3階共通ロビー
定員：80名(事前申込制・先着順)、参加費：無料
申込開始：2018年2月2日(金)

profile

山田創平 (社会学者／京都精華大学
全学研究機構社会連携センター長・人文学部准教授)
名古屋大学大学院修了。博士(文学)。厚生労働省所管の研究機関や民間のシンクタンクなどを経て現職。
編著書に『たたかうLGBT&アート』(法律文化社、2016)、共著書に『ミルフィユ04-今日のつくり方』(赤々舎、2012)、『ミルフィユ05-技と術』(赤々舎、2013)、『ジェンダーと「自由」-理論、リベラリズム、クエア』(彩流社、2013)などがある。特定非営利活動法人アートNPOリンク理事、HAPS実行委員、公益社団法人企業メセナ協議会東日本大震災芸術・文化による復興支援ファンド(GBファンド)選考委員。

森栄喜 (写真家)

石川県金沢市生まれ。パーソンズ美術大学写真学科卒業。2014年『intimacy』(ナナロク社)で第39回木村伊兵衛賞を受賞。『Crows and Pearls』(edition.nord、2009)、『tokyo boy alone』(レポリューション・スター・パブリッシング、台湾、2011)などの作品集のほか、同性婚をテーマにしたパフォーマンスシリーズ『Wedding Politics』(2013~2016)がある。最新作『Family Regained』(ナナロク社)が2017年12月に刊行された。

profile

三輪眞弘 (作曲家、情報科学芸術大学院大学 IAMAS 教授)
1958年東京に生まれる。国立ベルリン芸術大学及び国立ロベルト・シューマン音楽大学で作曲を学ぶ。1980年代後半からコンピュータを用いたアルゴリズム・コンポジションと呼ばれる手法で数多くの作品を発表。1989年第10回入野賞第1位、2004年芥川作曲賞、2007年プリ・アルスエレクトロニカでグランプリ(ゴールデン・ニカ)、2010年芸術選奨文部科学大臣賞などを受賞。近著『三輪眞弘音楽藝術 全思考一九八二〇一〇』をはじめ、CD『村松ギヤ(春の祭典)』や楽譜出版など多数。旧「方法主義」同人。「フォルマント兄弟」の兄。

山崎雅史 (ソフトウェア技術者)

株式会社NTTデータセキュリティシステムズ勤務。早稲田大学卒(西洋哲学専修)。要員計画、生産計画等のスケジューリング分野での実用システム開発を中心に、人工知能技術の一つである制約プログラミング技術の産業応用に従事。NPO法人ものづくりAPS推進機構理事、スケジューリング学会監事、日本オペレーションズリサーチ学会会員。山崎と次兵衛名義で、クラシック音楽、現代音楽、能楽、文学等についての文章を雑誌等に寄稿、Webで公開。

「いまを考えるトーク」シリーズ

vol.1 定常型・高齢化社会の“創造的”生き方を考える

2017年12月16日(土)

【ゲスト】 広井良典(京都大学こころの未来研究センター教授)
菅原直樹(OiBokkeShi 主宰、俳優、介護福祉士)

vol.2 多数決と民主主義~「わたしたちの意思」の表現とは

2018年2月2日(金)

【ゲスト】 坂井豊貴(慶應義塾大学経済学部教授)
岡田利規(演劇作家、小説家、チェルフィッチュ主宰)

【申込方法】 ロームシアター京都 WEB サイト内の専用予約フォーム、あるいは FAX でお申し込みください。FAX には、参加希望日、お名前、参加人数(4名様まで)、ご連絡先お電話番号をご記入ください。

【お問い合わせ・会場】

ロームシアター京都
京都市左京区岡崎最勝寺町 13 TEL.075-771-6051(代表) FAX.075-746-3366
http://rohmsiteatrekyoto.jp/

【アクセス】

- ・京都市営地下鉄東西線「東山」駅下車 1 番出口より徒歩約 10 分
- ・京阪電鉄「神宮丸太町」駅下車 2 番出口より徒歩約 13 分
- ・市バス 32 系統、46 系統、京都岡崎ループ「岡崎公園 ロームシアター京都・みやこめっせ前」下車すぐ
- ・市バス 5 系統、100 系統、110 系統「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車徒歩約 5 分
- ・市バス 31 系統、201 系統、202 系統、203 系統、206 系統「東山二条・岡崎公園口」下車徒歩約 5 分

